

2021年5月7日 (No.1)

# 遠隔実験により産研の技術をエアバス社にPR

— 量子ビームによる材料の機能創製・評価をインターネット中継 —

## ❖ 概要

大阪大学産業科学研究所・細貝研究室は、量子ビーム科学研究施設を活用した遠隔実験による企業との交流・情報発信を開始しました。2021年4月8日の第1回交流会では、欧州エアバス社に対して量子ビームおよびロボットアームを活用した材料表面の機能創製・評価に関する技術を紹介しました。遠隔実験には、大学院工学研究科マテリアル生産科学専攻・佐野研究室および国内の協力企業も参加しました。

細貝研究室では2019年より欧州エアバス社と協力した研究開発を行ってきましたが、コロナ禍の影響により、その成果を紹介する機会や手段が限られていました。そこで、最新の情報およびロボット技術を駆使した遠隔実験により研究成果の紹介を行いました。

今回はエアバスの仏・独・英の各事業所から民間航空機部門の副社長以下十数名が参加し、日本側を含めると30人を超える規模になりました。遠隔実験は世界各地と日本を結ぶことが容易で気軽に参加できることから、対面を凌ぐ効果も得られましたが、装置に触れることができない、迫力が伝わらない等、オンラインの限界や遠隔実験における技術的な課題も明らかになりました。

細貝研究室では関連部門と協力し、遠隔実験による国内外企業等との交流・情報提供・技術紹介を継続し、研究開発成果の民間への移転や社会実装を推進していきます。

## ❖ 参考 URL

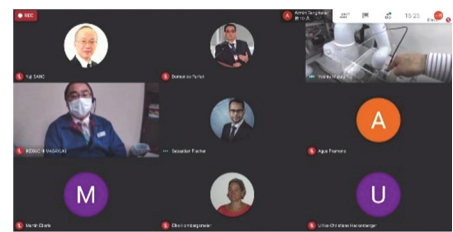
<https://www.sanken.osaka-u.ac.jp/labs/bmp/> (量子ビーム物理研究分野(細貝研))

## ❖ 本発表内容に関する問い合わせ先

大阪大学 産業科学研究所 教授 細貝知直 (ほそかい ともなお)  
TEL: 06-6879-8485 FAX: 06-6879-8489  
E-mail: hosokai@sanken.osaka-u.ac.jp



材料表面の機能創製実験



遠隔実験中継画面



日本側会議室(産研)の様子